

令和6年度 コスモス薬品森林保護事業

【宮崎県高千穂町】

事業区分：森林整備事業 事業名：森林整備事業

事業概要

伐期を迎えた人工林の伐採が増加する半面、森林所有者の再造林意欲が低下し、伐採後の再造林が進まない状況となっている。このことから、再造林に係る費用に対し追加支援を行い、豊かな森林づくりを進め、森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図る。

事業の成果

再造林に対しての支援、また再造林への協力を山林所有者や林業事業体に県と連携し呼び掛けたことで、再造林が促進され、適正な森林づくりに寄与することができた。

【事業面積】 26.20 ha

【事業費】 5,679千円 【コスモス薬品寄附活用額】 5,600千円

事業の流れ

- ①事業計画の策定
- ②施業の実施
- ③助成金の申請
- ④施業の完了、検査
- ⑤助成金の交付

事業状況



造林作業



造林後

二酸化炭素吸収量

区分	樹種	面積	吸収量	備考
新植（造林）	スギ、ヒキ	26.20ha	141トン	造林後、8年目のCO2吸収量

注1：上記の吸収量は参考値です。

注2：世帯当たり年間CO2排出量は2.47トンです。（令和5年度環境省家庭部門CO2排出実態統計調査・確報値）

令和6年度 コスモス薬品森林保護事業

【宮崎県高千穂町】

事業区分：森林整備事業

事業名：樹木種子散布実証実験

事業概要

人工林伐採後の未植栽値増加に伴う公益的機能の低下が懸念されることから、低コストかつ省力化が見込まれるドローンを活用した人工播種により、人工林伐採後の林床の更新速度を速め、森林の公益的機能を早期に回復させる手法の確立を目的とした実証実験に取り組み、4年後の事業展開を目指す。

(宮崎県西臼杵3町共同事業)

事業の成果

令和6年度は、国の機関である「森林総合研究所」に協力をいただき、32種類の種子の発芽試験を実施し、発芽条件の検討により11種が播種用植物として利用可能であると判断された。また、播種用ペレットの形状や素材の検討等を行った。

【事業内容等】 散布種子の選定、発芽試験、更新阻害状況（シカ被害）の状況分析、播種用コーティングの検討等

【事業費】 500千円 【コスモス薬品寄附活用額】 100千円

事業の流れ

R5…種子の選定

R6…発芽試験、ペレットの製作

R7…種子決定、散布実験、

散布装置(ドローン)改良

R8…散布後調査、各種改良

R9…散布後調査、最終調整

事業状況



植生試験

令和6年度 コスモス薬品森林保護事業

【宮崎県高千穂町】

事業区分：林道等維持管理事業

事業名：林道維持管理事業

事業概要

地元住民団体が実施する林道の維持管理作業に対し支援を行い、安定的に林道が利用できる状況を作り出すことにより、地域一体となって森林整備を行う体制を構築する。

事業の成果

林道沿いの草木除去や、大雨等による土砂流失の撤去を実施し、林道の適正な維持管理を行った。また、森林資源の観光を目的とした観光客の林道利用も増えており、本町の観光振興の一助にも寄与した。

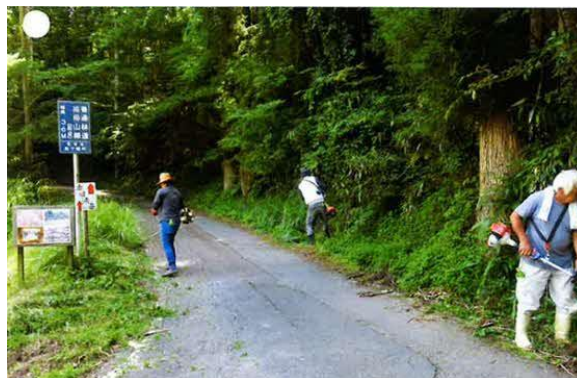
【事業内容】 15路線 32.5km

【事業費】 1,040千円 【コスモス薬品寄附活用額】 1,040千円

事業の流れ

- ①地元団体との協議
- ②作業の実施
- ③作業の完了、検査
- ④助成金の交付

事業状況



草刈



草木除去

令和6年度 コスモス薬品森林保護事業

【宮崎県高千穂町】

事業区分：林道等維持管理事業

事業名：林道維持補修事業

事業概要

林道は森林整備はもとより、生活道も兼ねた路網であるが、近年多発する集中豪雨により、適正な対応をしなければ、更なる災害を誘発する恐れがある。災害を未然に防ぐために適正な林道の維持を図る。

事業の成果

台風や大雨の後に路面や側溝の点検・清掃を実施。また、林道維持のため崩土や倒木の除去、災害復旧の測量設計を実施。林道の適正な維持管理を行うことで、安定的な森林整備や、地域住民の生活を維持することができた。

【事業内容】 測量設計 1 路線 路面・側溝清掃 8 路線 崩土・倒木除去 13 路線

【事業費】 8, 595 千円 【コスモス薬品寄附活用額】 4, 500 千円

事業状況

事業の流れ

- ①パトロール、維持管理箇所確認
- ②作業の委託（事業者へ）
- ③作業の完了、検査
- ④助成金の交付



倒木除去



崩土除去